



受付日：令和2年7月14日
受付番号：HP20-KT044

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和2年8月28日

東京都港区海岸1-
ニューピア竹芝ノースタ
ハウスプラス確認検査株
代表取締役社長 吉



1. 接合金物名称	ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12	
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9	
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。	
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部及び横架材端部接合部を想定した中柱型引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。	
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「ビス止め棟梁羽子板Ⅱ M12」1個 材質：板部;SPHC(JIS G 3131) ボルト部;SWRM8(JIS G 3505) 寸法：L=280mm ボルト部 M12(ねじ部L=55mm) 板部 t=3.2mm 接合具用孔 4-φ7.3mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側*1：「クリスパイラルビス 7×65」4本 材質：SAE 1022*2 SWRCH22A(JIS G 3507-1)相当材として以下の化学成分を満たすもの*3 C(0.18~0.23%),Mn(0.70~1.00%),P(0.030%以下),S(0.035%以下) 寸法：頭部径φ11mm ねじ山径φ7mm ねじ谷径φ4.8mm L=65mm(ねじ部L=50mm) 先端形状は、とがり先とする。 表面処理：ダクロタイズド</p> <p>横架材側：「角座金 W4.5×40」1個 材質：SPHC(JIS G 3131) 寸法：40mm×40mm t=4.5mm 接合具用孔 1-φ14mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>「六角ナット M12」1個 材質：SWCH8R(JIS G 3507-2) 寸法：M12 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱材*1：105mm×105mm×700mm スギ 製材無等級 含水率：12.0~14.0% 全乾密度：0.35~0.37g/cm³</p> <p>横架材：105mm×105mm×1,000mm スギ 製材無等級 含水率：11.0~13.0% 全乾密度：0.37~0.40g/cm³</p> <p>*1 試験体は柱頭柱脚部を想定しているが、横架材端部の接合で用いる場合は、柱材を横架材として読み替える。 *2 SAE Internationalが定める規格 *3 試験ではSAE 1022を使用した</p>	
6. 試験条件等	試験体の固定は、柱芯から横架材両木口400mmの位置にM12ボルト・ナットと角座金W4.5×40を用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値:20N・m) また、横架材にズレが生じないための固定用治具及び、加力時に柱の偏心を防止するためサポート治具を設置した。	
7. 試験結果	短期基準接合耐力 12.0 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)	
8. 試験場所	株式会社栗山百造:新潟県三条市井戸場84-9	
9. 試験実施日	令和2年7月16日	
10. 試験実施担当者	試験実施担当者:株式会社 栗山百造 製造部 開発課 池井 直道	報告書作成者:ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 阪口 明弘 宇山 善博

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。